

平成 22 年 6 月 1 日

平成 22 年度評議員会・総会における議決事項について

特定非営利活動法人日本臨床細胞学会

理 事 長 長村義之

総務委員会委員長 青木大輔

平成 22 年 5 月 31 日に開催されました、平成 22 年度評議員会・総会において、以下の事項が議決されましたので、会員のみなさまにお知らせいたします。

1. 平成 21 年度収支決算／平成 22 年度収支予算
2. 平成 21 年度事業報告／平成 22 年度事業計画
3. 事務局移転および事務局体制の変更について
  - 1) 学会事務局を従来のアサビル（東京都豊島区上池袋 1 - 38 - 5）より、駿河台サンライズビル（東京都千代田区神田駿河台 2 - 11 - 1）へ移転する。
  - 2) 学会事務局の組織体制を、事務局担当副理事長を中心とした体制へ変更。
4. 50 年史編纂記念事業とワーキンググループの設立
  - 1) 学会設立 50 周年の記念事業として、50 年史の編纂を 2 年を目途としておこなう。
  - 2) 資料の保管場所および編集作業はアサビルで縮小しておこなう。
  - 3) ワーキンググループを新たに設立し、佐藤之俊理事が委員長として選出された。
5. 公益法人化に向けての取組み
  - 1) 現在の NPO 法人から、公益法人への移行に向けて検討する。
  - 2) 公益法人へ移行するためには、まず一般社団を設立する必要があるが会員の方々には事前に公益法人への道程に加え、その長所・短所を学会ホームページ、学会誌を通じてお知らせしご意見を伺う。
  - 3) 次回、評議員会・総会で「一般社団法人設立」の提案を行う。
6. IAC 国際会議（ICC）の準備委員会設立について
  - 1) 2016 年 IAC 国際会議（ICC）が横浜で開催されることが決定した。
  - 2) 2016 年は日本臨床細胞学会春期大会と ICC との共同開催について検討する。
  - 3) 本学会内に第 19 回 IAC 国際細胞学会準備委員会を設け、2016 年 IAC 国際会議（ICC）のあり方について検討する。尚、本準備委員会の委員長は青木大輔総務委員会委員長、副委員長は内藤善哉国際交流委員会委員長および検査士会より推挙された細胞検査士とする。
7. 定款の改定
  - 1) 事務局移転に伴い、定款第 2 条（事務所等）を変更する。
  - 2) 指導医という呼称の廃止に伴い、定款第 5 条（事業）第 4 項より「指導医」を削除する。